



犬山営業所 業務係長 **神野 靖久**

犬山営業所で業務係長を務める神野靖久さんは、2015年5月に南星キャリアックス株式会社に中途入社しました。今回は、前職での経験や思い出に残っている仕事、今後の目標などを聞き、その人柄に迫ります。

前職ではどのような経験をされていましたか。

前職は料理人で、約20年間続けていました。地元(可児市)や名古屋市内の大・小・様々な規模のイタリア料理店でコックをしていました。30歳の頃には、イタリアで1年半半修業した経験もあります。修業は大変でしたが、現地で出会った人達は皆、ゆくゆくは自分の店を出したいと意欲的に取り組んでいて、とても刺激的な毎日でした。

料理人時代で特に印象に残っているのは、芸能人の方がお店に来てくれたこと。菅原文太さん、名取裕子さん、七瀬なつみ

さん、森口博子さん、山口智充さんといった方々に料理をふるまったこともあります。

南星キャリアックスに入社したきっかけと、入社後の経歴を教えてください。

料理人時代は、私もいつか自分の店を構えたいと夢見ていましたが、とある事情で諦めることになりました。これからの人生、仕事について考えたときにもっと家族との時間をもちたいと思い、土・日に休める職を探しました。

もともと自動車の運転が好きだった私は、周りに運送業に従事している人がいたため、ドライバーという職業を身近に感じていました。そこで、求人誌で見つけた南星キャリアックスに入社を希望したのです。

入社後は、まず小牧営業所に配属。1年間ドライバーとして勤務し、当時の小牧営業所の所

仕事のやりがいや、長く続けてこられた理由を教えてください。

物流はインフラストラクチャーとして、当たり前存在するものです。しかし、ときにはイレギュラーなことも発生します。そんなときに、自分の働きによって上手く対応できたり、ドライバーと協力してお客様の役に立てたりすると、やりがいを感じます。

仕事を長く続けていられる理



由は、上司や同僚、ドライバーなど多くの人に支えていただいているからだと思えますね。特に石黒部長と小向所長には、悩んだときに相談に乗っていただき、感謝しています。

今後の目標をお聞かせください。

南星キャリアックスの基本方針にもある、「チームワークを大切にしよう」というのが目標です。そのためにも、職場ではコミュニケーションを大事にしています。業務係長としては、犬山営業所の皆さんが向上心をもって、安心して働けるような職場環境を作っていくつもりです。

異業種からの転職にもかかわらず、活躍を続けてきた神野さん。これからも上司や同僚、ドライバーへの感謝を胸に、情熱をもって日々の業務に取り組んでいくことでしょう。

長(現・管理部の石黒部長)に声をかけられ、業務職員となりました。40歳を過ぎてから業務職員になる方はあまりいないと思うのですが、先の人生を考えたときに、向上心をもって取り組めると思いました。その後は、2020年から浜松営業所に1年間所属し、2021年に犬山営業所に異動して現在に至ります。

思い出に残っている仕事はありますか。

浜松営業所時代に、初めて長距離の運行に出たときのことが思い出に残っています。株式会社丸八真綿から受けた、青森県弘前市のホテルに商品を納める仕事でした。3日間ほどの運行日程で、私は初の長距離運転に少しわくわくした気持ちで臨んでいたのです。

ところが納品後、東北自動車道の岩手県と宮城県の県境を

走っているときに、車両トラブルが発生。電気系統に異常があるとの警告灯が付き、とりあえず次のサービスエリアまで走ろうと頑張ったのですが、たどり着けませんでした。なんとか路肩にトラックを停車しましたが、ライトが消え、最終的にはエンジンも停止してしまいました。20時近くであたりは真っ暗。身の安全を確保しつつ、非常電話を使って助けを求めました。

やがて警察官や交通管理隊の方々が来て、レッカー車で最寄りのサービスエリアまで運んでもらいました。それから日野レスキュー、電気部品業者の方に作業していただき、完了したのが深夜1時頃。幸い事故もなく終わりましたが、たくさんの方に動いていただき、ひとつのトラブルの重大さを実感しました。同時に、点検や日々の整備の必要性を改めて感じた出来事です。